

# 江津市立桜江中学校

## 1 取組の概要

○取組テーマ 「がんについて正しく理解し、健康と命の大切さについて主体的に考える生徒の育成」  
教科横断的な取組

## 2 がん教育の実際

(1) 学校保健委員会 「がんについて考えよう～自分と大切な人のために～」

講師：竹林正孝医師

(済生会江津総合病院 副院長)



### ★生徒の感想★

・今日のお話を聞いて、がんのことについてより深く知ることができました。これから、もし周りの人ががんになったら、支えるヒントを思い出し、少しでも力になればいいと思います。健康に気をつけているひとでもなってしまうことがある病気ということを知ったので、祖父母や両親などの身近な人に定期健診を受けるように言いたいです。

(2) 第2学年 特別活動(学級活動)

●題材名 「相手の気持ちを考えて～自分と大切な人のために～」

(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の形成

●ねらい ・がん患者の困り感から「相手の気持ちを考える」とは何をすることかを考え、  
他者の立場や考えを理解しながら自分の意見を表現している。

〈導入〉

・患者への声かけ、困り感を知る。

(水泳の池江選手の事例を挙げ発言の 〈グループ活動の様子〉)

受け止め方を考える。)

〈展開〉

・「相手の気持ちを考える」とは何をすることかを考える。

個人→グループ活動

・各班の発表をする。

〈まとめ〉

・クラスで出した意見を意識し、  
生活に生かしていく。



〈授業の様子〉

〈授業後、全職員で授業の協議〉



(3) 生徒会活動での取組

保健体育部の活動として、がんについてのリーフレットを作成

